

平成29年度事業計画（案）

【基本方針】

グリーン・ツーリズムを推進するために必要な普及啓発、情報発信等の条件整備について、実践者、推進組織、交流施設、関係機関及び関係団体等が一体となって推進するとともに、観光立県を推進する関係団体やそのイベント等と連携しながら都市と農村の交流等による農山漁村地域の活性化を目指す。

特に、昨年度スタートした「やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会」では、直面している課題に対応した開催内容とするなど、県内グリーン・ツーリズムの更なるレベルアップに向けた取組みを実施する。

また、具体的な事業の企画・運営に当たっては、会員であることのメリットを実感できるような事業展開に配慮する。

《主な事業》

- (1) 都市住民への情報発信の強化とリピーターの確保
- (2) 地域ぐるみでの受入態勢の整備
- (3) グリーン・ツーリズムの普及啓発
- (4) 「やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会」の開催等によるレベルアップ

《独自事業》

1 情報発信事業

- (1) 情報発信の強化
 - ①協議会 HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」の充実と併せ、ツイッターやフェイスブックを活用した情報発信を継続的に実施する。
 - ②フリー・マガジン「GOZZO 山形」等を活用したイベントや会員の取組みを紹介するとともに、読者プレゼントとして会員の商品を提供するなど、誘客の契機とする。
 - ③新たに「農～んびりやまがたスタンプラリー」への応募者に対し、会員のチラシ等の送付に取り組む。
 - ④会員間の情報交換を図るため、年2回の会報を発行する。
- (2) 関係団体との連携
 - ①日本 GT ネットワークセンター、県観光物産協会、おいしい山形推進機構及び県教育旅行誘致協議会等の構成員として連携を図りながら、グリーン・ツーリズムの普及啓発と本県への県外客等の誘致促進を図る。
 - ②観光事業者等と連携した情報発信や受入れ企画の提供に取り組む。

2 受入態勢整備事業

(1) 受入態勢整備への支援

地域が一体となった受入態勢の整備を推進し、実践者の資質向上を図る活動を支援する。(助成率：助成対象経費の2/3以内)

「会員が活用しやすいこと」の視点から助成内容を見直し、活用の促進を図る。

① 交付申請の時期及び回数

従来之年1回の申請期限を見直し、8月末と2月末の年2回とする。

② 助成対象事業

1) 実践者間のネットワーク形成に向けた支援(助成金上限10万円)

地域ぐるみで活動を展開していく態勢を作るため、実践者ネットワーク会議の開催及び実践者が相互に連携して行う交流事業に対する支援

2) 商品力向上や人材育成に向けた先進事例の収集支援

先進地研修(原則として組織)や国内外の会議・研修への参加(個人及び組織)に対する支援(助成金上限 組織5万円、個人2万円)

3) 受入企画実践支援事業(新規)

観光事業者等と連携した受入企画の検討・試行等、地域での意欲的な受入企画の実践に取り組む事業に対する支援(助成金上限10万円)

3 普及啓発事業

(1) 地域活動推進への支援

山形県内におけるグリーン・ツーリズムのネットワークを推進するために、総合支庁管内全体をカバーする実践者の組織又は総合支庁が実施する事業及び組織の運営費を支援する。(助成金上限20万円)

(2) 情報収集・普及啓発活動の実施

日本一さくらんぼ祭りや山形県農林水産祭など、県が主催するイベント等に参加して、グリーン・ツーリズムを県民にPRするとともに、全国GTネットワーク大会等への参加など、情報収集、PR及びネットワーク形成などの活動を実施する。
＜主なもの＞

① 県主催イベントへの参加

日本一さくらんぼ祭り(6/18)、山形県農林水産祭(10月頃)

② 「庄内・命の食プロジェクト」への後援

③ 「第16回 全国グリーン・ツーリズムネットワーク大会」への参加

平成29年11月10日～11日 東洋大学(東京都文京区白山)

4 「駅西 旬の朝市」

朝市会場の山形駅西口広場は、西口拠点施設(新文化施設)の建設工事に伴って、当面(平成29年度から概ね3年程度)使用できないことから、その間、「駅西 旬の朝市」は休止する。

ただし、仙台市勾当台公園における交流市(栗原、大崎及び石巻との合同開催)は、今後とも継続して実施するほか、活動の場の拡大に取り組む。

5 総会、役員会、幹事会等の開催

《 補 助 事 業 》

1 グリーン・ツーリズム推進事業

- (1) 「グリーン・ツーリズム NEWS」の発行
年5回、各 9,500 部を作成・配布
会員の他、道の駅等県内外の約 400 か所に配布
- (2) HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」の管理運営
新着情報、会員リンク、ページの更新（新設・削除・修正・更新）
- (3) 農～んびりやまがたスタンプラリーの実施
期間：6月15日～10月15日
協賛施設数 60～70 か所、県内外の約 160 か所に台紙配置
- (4) グリーン・ツーリズム推進体制の運営（事務局の人件費）

2 やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会開催事業

当協議会が直面する諸課題に対応して、テーマ毎の研修大会を3回に分けて開催するなど、会員を中心にしたレベルアップやネットワーク強化の機会とする。

part I：フレッシュ・グリツリミーティング in 山形

- ・期 日：8月25日(金) 13:30～
- ・会 場：JA 研修所「協同の杜」 講堂
- ・定 員 等：約 100 名、参加費無料（交流会は有料）
- ・内 容：地域活性化、後継者確保、会員の拡大等をテーマとして、
基調講演、意見交換会、交流会等

part II：6次産業化実践研修会

- ・期 日：9月～10月（予定）
- ・内 容：農商工連携ファンドの活用事例講習、実践者トーク及び
加工品試食・交流会

part III：先進事例視察研修

- ・期 日：2月～3月（予定）
- ・内 容：近県での6次産業化の先進事例の視察